

1 青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦 ～支え合い、共に生きる～

県行政全般に係る政策・施策の基本的な方向性を総合的・体系的に示す「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の概要を紹介する。

(1) 「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」とは

- ・ 県行政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針
- ・ 計画期間は5年間（2019～2023年度）
- ・ 最重要課題は「人口減少克服」

<選ばれる青森>

- ・ 若者や女性の皆さんから、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」
- ・ 農林水産品や観光、北海道・北東北の縄文遺跡群など、様々な分野での青森県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざす、という2つの意味がある。

<支え合い、共に生きる>

- ・ 2025年の超高齢化時代の到来を見据え、地域におけるつながりや助け合いを大切にしていこう、という意味がある。

<ロゴマークのコンセプト>

- ・ AomoriのAをモチーフに、これらが中心に向かって集まる様子をデザインし、青森県に人やモノが集まり、「選ばれる青森」を実現していくというメッセージと、県民が持てる力を結集し、支え合うイメージを表現。



(2) 2030年の青森県のめざす姿

- ・ 2030年のめざす姿として「生活創造社会」を掲げ、その実現をめざす。

ありわい
「生業」と「生活」が好循環する地域へ
～世界が認める「青森ブランド」の確立～

- ・ めざす姿（青森ブランド）の具体像

様々な分野の「生業」と「生活」が生み出す価値が一体となって世界から評価され、県民自身もその価値を誇りに思い、存分に享受している状態

「青森ブランド」の具体像

「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」の青森県



(3) 今後の大きな課題

若者・女性の県外流出

- ・進学や就職を契機とした若者の県外流出が人口減少の大きな要因となっている。
- ・引き続き、多様で魅力あるしごとづくりを進めることが重要である。

人手不足の顕在化と労働生産性の向上

- ・多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化している。
- ・労働力の適正配分と、一人当たりの労働生産性を高めていくことが重要である。

2025年超高齢化時代への対応

- ・2025年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、これまで経験したことのない超高齢化時代を迎える。保健・医療・福祉体制の一層の充実が大きな課題である。

平均寿命・健康寿命の延伸

- ・本県の平均寿命は着実に延伸しているが、依然として全国最下位。
- ・平均寿命とともに、健康寿命を延伸していくことも重要である。

(4) 今後重視していく取組の方向性

①経済を回す

人口減少社会にあっても持続可能な地域づくりを着実に進めるため、地域において魅力ある「しごと」をつくり、多様な雇用を生み出し、そこで生まれた収入を地域経済の中でしっかりと回していく「経済を回す」仕組みづくりを進める。



②世界へ打って出る～Local to World～

グローバル化の進展やアジア諸国の経済成長を見据え、これまで以上に世界を視野に入れ、「攻めの姿勢」で取り組む。

③労働力不足への対応

若者の県内定着、人財還流を促進し、多様な働き方ができる環境づくりを進めるとともに、AIやIoT活用等による生産性向上に取り組む。

④「青森県型地域共生社会」の実現

県民の誰もが、地域で安心して老後を迎えることができる「青森県型地域共生社会」の実現をめざす。

⑤県民の健康づくり

平均寿命、健康寿命の延伸に向け、県民の健康づくりに対する意識向上を図るとともに、ライフスタイルに応じた生活習慣の改善、健診等受診率向上などに取り組む。

⑥ふるさとあおりへの自信と誇り

県民誰もが本県への誇りを持ち、県外・海外に向けて自信を持って発信していけるよう、県民の意識醸成に取り組む。

(5) めざす姿の実現に向けて

めざす姿の実現に向かって、それぞれの視点から取り組んでいく。

<全県計画4分野>

4つの分野を設定し、全県的な視点で取組を展開していく。



<戦略プロジェクト>

5つの戦略プロジェクトを設定し、分野横断で重点的に取り組んでいく。



<地域別計画>

6つの地域県民局の圏域ごとに、各地が置かれている状況や、地域の特性を踏まえた取組を進めていく。



<SDGsの理念を踏まえた施策展開>

SDGsの理念を踏まえながら計画の推進を図る。

